

研修だより

ＮＯ．６

６／19（金）

**Ｌｅａｒｉｎｉｎｇ**

**第三回授業研究から（４年生　国語科）**

教科書以外の写真でも筆者の考えを深く理解することができる。

　５の段落を音読し、ルーズの視点から、何が分かり、何が分からない

のか整理することできた。

　班ごとにそれぞれの写真を準備し、その写真でもアップとルーズの関

係、筆者が言いたいことが成り立っているか確認した。

　　　「どんな写真だった？」「どんなこと書いた？」

　　　「誰か話そうよ！」「そうなんだ。なるほど。」

　　友だちとの交流が学びを深くする場面がたくさん見られた。

参観された先生方の学び

　・漢字ビンゴが児童一人一人が活き活きと楽しんでいた。是非、自分の学級でも取り入れたい。

・プリントから課題へ、教科書から課題へ、友だちの話し・プリントから自分へ、児童一人一人違うツールで課題を解決しようとしている姿が見られた。

・既習事項の積み重ねでパターン化がとても重要だと感じた。パターンができることで児童の自信もつくことが分かった。自主的に取り組む児童が多かった。

・８分間児童は集中していた。夢中になれる教材・教具・学習訓練を行っていく必要があると感じた。

実践した先生方の学び

　①　児童理解

　　⇒どこでどのように悩んでいるか？

　②　教材開発

　　⇒全員が取り組むことができる課題を作成

　③　学ぶ場としてのパートナーシップ

　　⇒関係性を向上

　　⇒